

電気工学専攻の加藤司さんが電気学会、基礎・材料・共通部門で「優秀論文発表賞」を受賞しました



2012年9月20日、21日に秋田大学で開催されました平成24年電気学会基礎・材料・共通部門大会において、電気工学専攻博士前期課程の加藤司さんが「優秀論文発表賞(基礎・材料・共通部門表彰)」を受賞しました。

対象論文は「モニタリングクロスアンテナと粒子媒体の解析 -粒子媒体の配置パターンによる電界強度の検討-」です。研究内容は、プラズマモニタリングアンテナによって生成された局所的円偏光を用いた、高速かつ高密度化の実現に向けた新たな磁気記録システムの提案となっています。この報告では、プラズマモニタリングアンテナと粒子媒体を組み合わせたときに、粒子媒体の配置によって媒体内部に電界強度の大きな円偏光、平成23年度電気学会マグネティックス研究会で発表が行われた「光直接記録のためのプラズマを生成できることを示しています。このことが高く評価され、今回の受賞に至りました。

本研究は日本大学 N. 研究プロジェクトの支援を受けて実施されています。

